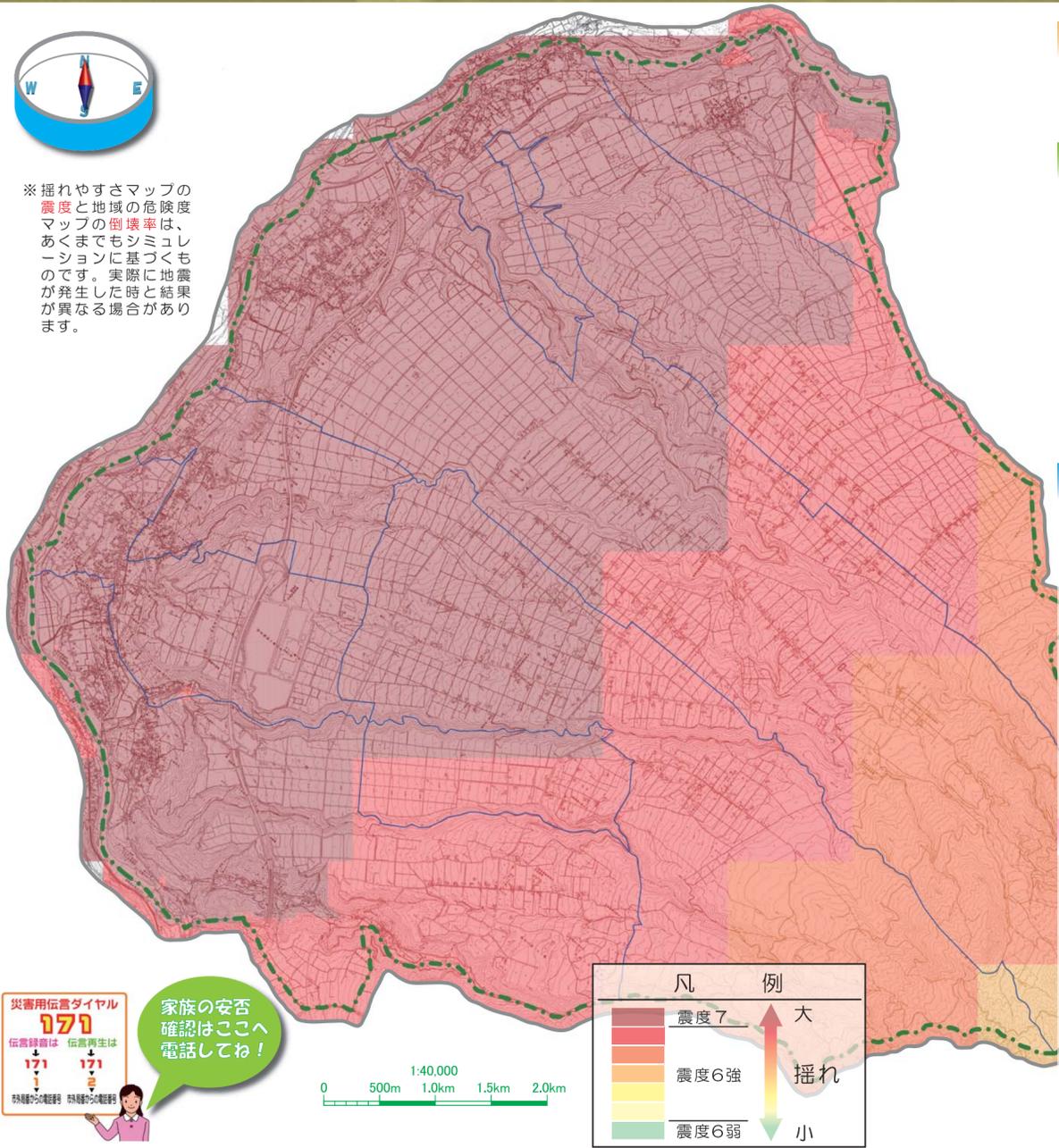


揺れやすさマップ



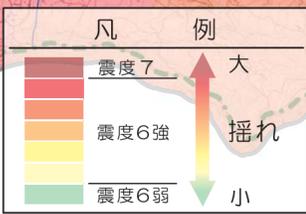
※揺れやすさマップの震度と地域の危険度マップの倒壊率は、あくまでもシミュレーションに基づいたものです。実際に地震が発生した時と結果が異なる場合があります。



災害用伝言ダイヤル
171
伝言録音は 伝言再生は
171 171
※録音からの録音音 録音からの録音音

家族の安否
確認はここへ
電話してね！

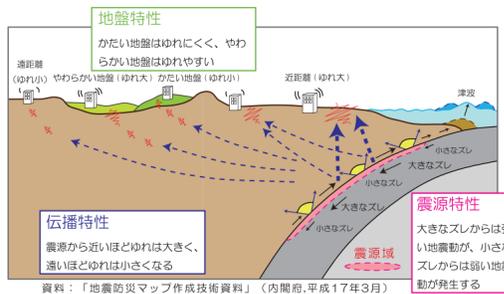
1:40,000
0 500m 1.0km 1.5km 2.0km



揺れやすさマップとは？

揺れやすさマップは、沼田市付近の柏崎-鏡子構造線で「直下型地震」(想定:マグニチュード7.4、震源断層の深さ5km)が発生した場合の震度分布で、メッシュ毎に震度の最大値を表現したものです。

地震のメカニズム！



大陸プレートが海洋プレートに押し続けられ、その力に耐えかねて、あちこちでひび割れが生じます。押し続けられた力を上下に逃がすように比較的浅いところで岩盤が動くことにより、地震が発生します。このときに生じるひび割れが活断層です。「全国どこでも起こり得る直下型地震」は活断層による地震です。

震度と予想される現象

5強	6弱	6強	7
恐怖感があり、多くの人々が行動に支障を感じる。タンスなどの重い家具が倒れることがある。	立っているのが難しく、固定していない家具の多くが移動・転倒する。耐震性の低い住宅は倒壊するものもある。	立ってられず、はわないと動けない。耐震性の高い住宅でも柱や壁がかなり壊れる。	耐震性の低い住宅は倒壊するものが多くなる。耐震性の高い住宅でも、まれに傾くことがある。

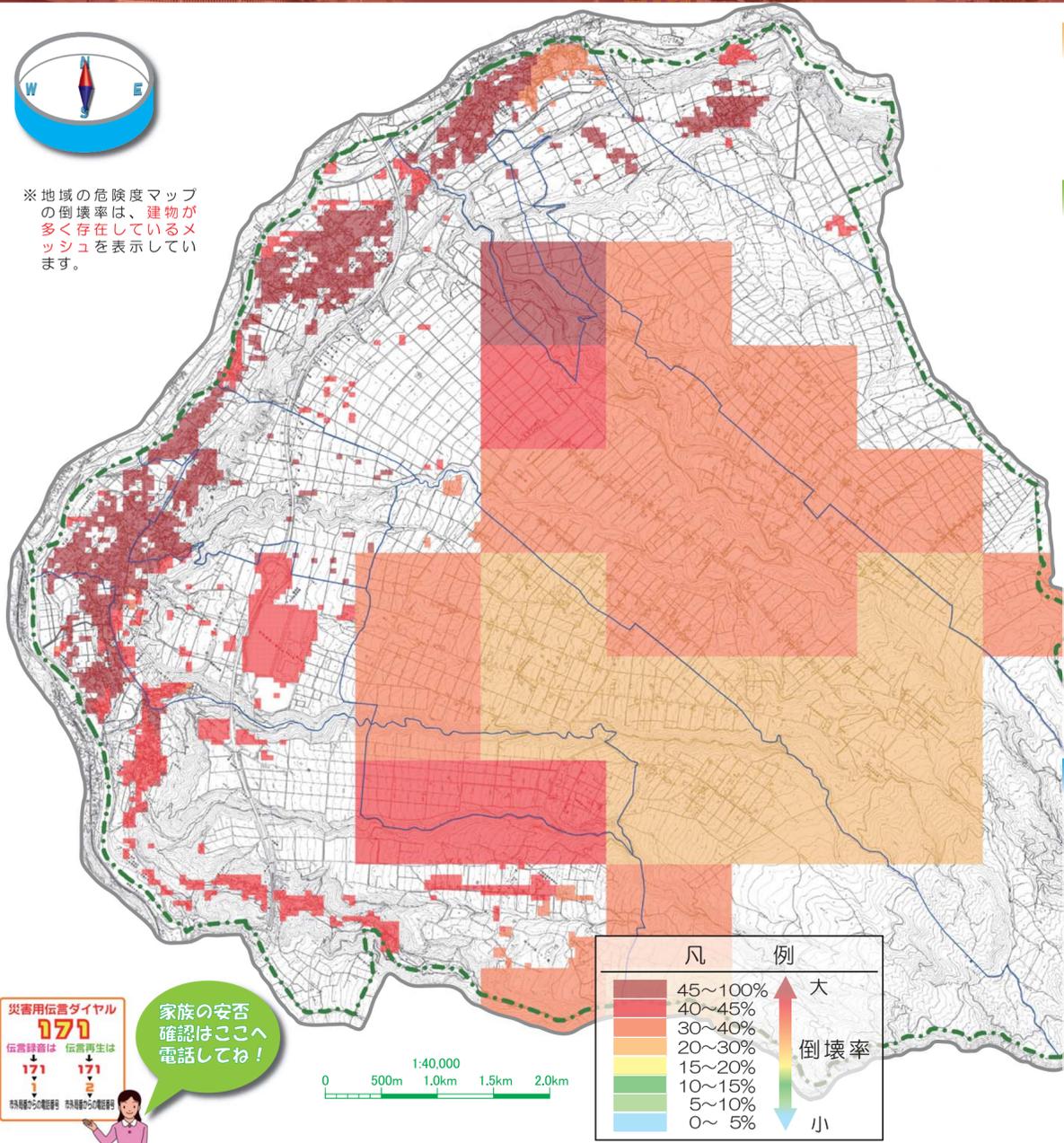
群馬県の活断層と過去の地震

発生日月	地震名(震源)	M	震度	被害状況
1916年2月22日(大正5年)	(浅間山麓)	6.2		家屋全壊7戸 半壊3戸 一部損壊109戸
1923年9月1日(大正12年)	関東大震災(小田原付近)	7.9	前橋:4	負傷者9人 家屋全壊49戸 半壊8戸
1931年9月21日(昭和6年)	西埼玉地震(埼玉黒仙元山付近)	6.9	高崎・渋川・五井:6 前橋:5	死者5人 負傷者5人 家屋全壊166戸 半壊1,769戸
1964年6月16日(昭和39年)	新潟地震(新潟県沖)	7.5	前橋:4	負傷者1人
1996年12月21日(平成8年)	茨城県南西部の地震(茨城県南部)	5.5	板倉:5弱 沼田・片品・北橋:4	家屋一部損壊46戸
2004年10月23日(平成16年)	新潟県中越地震(新潟県中越)	6.8	高崎・沼田・北橋・片品:5弱 富士見・赤塚・白沢:4 桐生:6弱	負傷者6人 家屋一部損壊1,055戸
2011年3月11日(平成23年)	東北地方太平洋沖地震(東北地方太平洋沖)	9.0	高崎・沼田・北橋・桐生:4 前橋・千代田・大泉・邑楽:4 碓氷:4	死者1人 負傷者41人 家屋半壊7戸 家屋一部損壊17,679戸

地域の危険度マップ



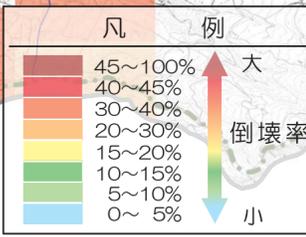
※地域の危険度マップの倒壊率は、建物が多く存在しているメッシュを表示しています。



災害用伝言ダイヤル
171
伝言録音は 伝言再生は
171 171
※録音からの録音音 録音からの録音音

家族の安否
確認はここへ
電話してね！

1:40,000
0 500m 1.0km 1.5km 2.0km



地域の危険度マップとは？

地域の危険度マップは、地震の揺れによって発生する建物被害の分布を相対的に表したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した揺れとなった場合に、被害が生じる程度を「危険度」として表しています。この「危険度」とは、メッシュ毎に全壊する建物の割合を表しています。例えば、倒壊率の数値が大きくなるほど地域の建物が受ける被害が大きくなります。

建物の耐震化が重要です！

STEP1 まずは相談しよう！

【相談窓口】
◇場所: 昭和村役場 建設課
◇TEL: 0278-24-5111

「耐震診断・耐震改修って何？」
「なぜ耐震化が必要なの？」

STEP2 耐震診断をしよう！

【木造住宅耐震改修診断者派遣事業】を検討しています。

■概要
・木造住宅について、診断者を派遣し、一般診断※1を行う。

■該当建築物
①昭和56年5月31日以前に着工し一戸建ての木造住宅または木造併用住宅(住宅部分の床面積が2分の1以上のもの)
②平屋または2階建ての木造住宅

※1 財)日本建築防災協会発行「木造住宅の耐震診断と補強方法」に基づく耐震診断法

STEP3 建物の耐震改修を！

【木造住宅耐震改修補助事業】を検討しています。

■概要
・耐震補強工事を行った個人に補助を行う。

■該当建築物
①昭和56年5月31日以前に着工し一戸建ての木造住宅または木造併用住宅(住宅部分の床面積が2分の1以上のもの)
②平屋または2階建ての木造住宅

資料:「耐震改修促進計画」(昭和村)

家族の安全を確保するために

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震では、亡くなった方のほとんどが木造家屋の倒壊や家具の転倒などによる圧死でした。あなたや家族が犠牲にならないよう家具の固定など地震対策を行いましょう。

タンス、食器棚や本棚は、L字金具やベルトで固定しましょう。

窓ガラスや食器棚などのガラスには、飛散防止フィルムを貼りましょう。

冷蔵庫、テレビ、ピアノなどは壁面に固定して、移動を防止しましょう。